

活動方針 2 「海の道」のリフォーム

地域住民との生産と暮らしの基礎的な単位である「浦」(= 漁村集落) と「浦」、あるいは「岬」などを結ぶ現在の道路は、生活基盤としての性格が強く、機能重視の傾向にある。そこで、新たな地域の資源として、道路の魅力向上を図るために、素晴らしいリアス式海岸が眺望できるように、ビューポイント区間の路肩の雑草伐採や、道路の清掃活動、草花の植栽運動を展開する。また、海岸美を損なわないための既存看板等の整理や、駐車場(とるば) 休憩所(ベンチ等)等の整備を進めることにより、海岸沿いの道と海との空間利用を促進し、沿道環境を向上させる。このような取り組みにより、新たな「なごみ空間」を創出して利用者がスロードライブを楽しめるような道路空間・景観整備を目指す。

活動事例

- ・ 県北みちもりの道路清掃活動



活動イメージ

- ・ ビューポイントの整備など快適な道路空間の整備

例：丸市尾～葛原海岸線



現 況



整備後のイメージ

- ・ ビューポイントの案内板設置
- ・ 駐車マスの設置

活動イメージ

- ・ 看板類の集約化やデザインの統一化など道路景観の整備



現 況



整備後のイメージ